

# 子どもを健やかに育む施策の充実を図ります

予算額 29,120千円

国は、省庁間の連携不足を解消し、子ども関連の施策を一括して所管する「子ども家庭庁」の創設を検討しています。  
町においても、少子化対策をはじめとする諸問題を解決するため、地域の実情に応じた対策や子ども・子育て支援施策を充実させるため、社会全体で安心して結婚、出産、子育てをしやすい環境づくりに取り組んでまいります。

## 子ども応援課の創設

- ◆子ども施策に関する体制の強化
  - ・ひとり親施策、放課後児童対策等に関する業務を集約する。
  - ・要保護児童対策に従事する職員を増員する。
- ◆放課後児童の居場所づくりの充実 20,425千円
  - 放課後児童クラブ運営事業 13,126千円
  - 放課後子ども教室事業 7,299千円
  - ・「放課後子ども教室事業」を教育委員会から移管し、子どもにとって、よりよい放課後の居場所づくりを推進する。
- ◆病後児保育の開始 269千円（新規）
  - ・豊山保育園に看護師を配置し、病気の回復期で集団保育が困難なお子さまを一時的にお預かりする。

## 0、1歳児保育の拡充

- ◆0、1歳児保育の拡充 7,136千円（新規）
  - ・毎年度、年度途中に発生していた0、1歳児の待機児童対策のため、青山保育園において0、1歳児保育を開始する。

## 子ども家庭総合支援拠点の設置

- ◆子ども家庭総合支援拠点の設置 1,290千円（新規）
  - ・子どもや妊産婦の福祉に関し、必要な実情の把握、情報の提供、相談などの支援を行う拠点として、新たに設置する「子ども応援課」を位置付ける。
  - ・本庁子ども応援課窓口に「親子交流スペース」を新たに設ける。

【イメージ】→  
(令和3年度に整備した南館ひまわり内の交流スペース)

